

## 2017年度京都造形芸術大学通信教育部入学式式辞

2017年4月9日

京都造形芸術大学学長 尾池和夫

京都造形芸術大学芸術学部通信教育部に入学、あるいは編入学された1510名（9日現在）の皆さん、大学院芸術研究科修士課程（通信教育）に入学された103名の皆さん、ご入学、まことにおめでとうございます。

列席の瓜生山学園の役員、副学長、学部長、研究科長、すべての教職員とともに、ご入学を心から祝いたします。新入生の皆さんは、日本の各地から京都造形芸術大学の通信教育部を学習と制作の場として選んでくださった方々で、そのことを何よりも感謝します。これから瓜生山学園の京都のキャンパスで、東京の神宮外苑キャンパスで、あるいは大阪サテライトキャンパスで、また時に全国の各地で、皆さんはスクーリングなどに参加されますが、その機会も大いに愉しんでいただきたいと思います。

今日の入学式を迎えるまで、皆さんはさまざまな経験を積み、さまざまな分野で技術を磨き、また芸術活動にもとり組んで来られたと思います。その人生を支援してこられたご家族や友人もおられることでしょう。それらの方々とともにお祝いしたいと思います。

この瓜生山学園には、建学の理念を示す「芸術立国之碑」が建っています。一昨日、東北芸術工科大学の入学式で私も祝辞を述べてきましたが、姉妹大学であるその大学にも同じ黒御影石の「芸術立国之碑」が建っており、同じ理念のもとに学生たちが活動します。

2015年、政府が「社会に出た後も誰もが学び続けられる社会」という考えを提示したこともあって、社会人になってからも大学で学ぶということが今日では極めて当たり前のこととなってきました。通信制大学での学びは、どこに住んでいてもマイペースで受講できるのが大きな魅力となりました。その中には、絵画や写真、伝統文化、建築などの芸術分野も含まれています。

今年もきわめてすぐれた卒業作品の数々を拝見することができました。そこには仕事の質を高めるため、あるいは夢を今こそ叶えるため、あるいは新しい分野に挑戦するため、さまざまな思いで学んだ方たちが力作を飾りました。

これまで働いてきたから定年後の人生をさらに豊かにと願う方も多く、人生のさまざまな姿を通信教育部の中で拝見することができます。

富山県在住の川幡さんは60代の方ですが、50代後半で仕事に区切りをつけ、もう一度大学で学びたいと選んだのが日本画コースでした。未知の世界に引き込まれた川端さんが、季節に合わせて写生は難しいからと写真を見て描いてみたら、先生から「写真を見て描いたでしょう」と指摘されたというのです。そして写生の現場の大切さに気付いたと言われ、短時間で成果を求めるのではなく、遠回りしてこそ身につくことがあるという体験を語りました。また多彩なスクーリングも満喫し、ベテラン学生や若い学生の情熱にも刺激されたと語っておられます。単に絵を描くことでは得られない人生の彩りを楽しむ姿をそこに見ることができます。

1年前の卒業式では、96歳の平田さんに卒業証書を手渡しました。世界最高齢の学士として、平田さんはギネスブックに登録されました。この記録をぜひ更新する方が登場してほしいと思います。ギネスブックの修士の記録は97歳のオーストラリアの方ですが、この記録にも挑戦してほしいと期待しています。平田さんも100歳を超えたら、また大

学院に挑戦してみたいと目標を語ってくれました。今日入学された方には、86歳の方も、88歳の方もおられます。また、1年に入学された方が595名、3年に入られた方が861名で、この数字からも生涯学習の状況が読み取れます。

私は俳句を詠みますが、俳句の基本を「3現則」と呼んで俳句を学ぶ方に伝えます。「現在の現象を現場で詠む」という3現則です。これは写真の作品と同じです。瞬間を切り取って撮影された多くの写真の中から1枚を選んで出展します。切り取る眼も、選ぶ眼も写真と俳句に共通するものがあります。しかし、大切なことは自然に感謝し、自然を護るという精神、地球社会の調和ある共存を基本とする考え方がその背景になければなりません。

本学の『藝術立国之碑』にはその考え、天地人、三才の世界の考えが刻まれているのです。皆さんにも作品を生み出す基本にそのことを大切にしていきたいと願います。千葉県野鳥の会の野鳥撮影のルールがあります。営巢の写真は撮らない。希少種を追い回さない。長時間撮影しない。鳥を挟まない。囲まない。追い詰めない。希少種の写真や情報の公開はその場所にいなくなったことが確認されてから。近づいて飛ばせたり、眠っている鳥を起こしたりしない。じゃまな枝を折ったり、石を移動したりと、環境の改変や破壊をしない。撮影のための餌付けをしない。ICレコーダーやテープレコーダーなどの音声による誘引をしない。ストロボを使わない。私有地や立ち入り禁止の場所に入らない。他人の庭や近隣の家を覗いたり写したりしない。撮影場所を占有しない。待つ間に大声を出さない。ゴミは持ち帰る。通行人のじゃまにならない。挨拶する。

当たり前のことばかりですが、大切なマナーです。鳥の保護のための調査や研究であっても、俳句であっても、同じマナーが大切です。

本学が芸術系大学として初めて4年制通信教育部を設置したのは1998年でした。また2007年に通信制大学院（修士課程）を設置しました。今、いつも約6000名の方が学習しています。添削指導が丁寧であるという評価をいただいています。そのコースを選んで入学式を迎えられた皆さんの学習を、瓜生山学園の教職員が支援します。それを十分活用していただき、学習と制作に励んでいただきたいと思います。私もスクーリングでお目にかかるのを楽しみにしています。

くれぐれも心身の健康に留意してご活躍くださるよう祈って、私の入学式の式辞といたします。

ご入学、おめでとうございます。

ありがとうございました。